

チャペル週報

No. 4

2015. 4. 27 ~ 5. 1

心を得た人は自分の魂を愛する。
英知を守る人は幸いを見いだす。
(箴言19章8節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 4月27日(月) ランバスチャペルアワー「みんなが参加できるチャペル」ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
- 神 ランバスチャペルアワーに合流
経 舟木 讓(宗教主事)
人 音楽チャペル 関西学院グリークラブ
聖 聖書物語 虹の橋
理 宗教総部
-
- 4月28日(火) 聖歌隊による音楽礼拝
- 神 音楽チャペル 関西学院グリークラブ
文 チャペルコンサート 混声合唱団エゴラド
社 ボランティアの奨め1 特別非営利活動法人「かめのすけ」
法 聖歌隊による讚美歌練習
経 海外での奉仕を考えるチャペル 上ヶ原ハビタット
商 イースターをおぼえて① 平林 孝裕(宗教主事)
国 「讚美歌を歌う」 鍋島 穂波(歌手)
聖 関西学院エコハビタット(1)
理 関西学院大学YMCA 神戸三田キャンパス
-
- 4月29日(水) 神 大野 順(神学研究科M2)
- 法 Our Father in Heaven Christian Hermansen(宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
商 山本 俊正(宗教主事)
人 宗教総部
国 イースターをおぼえて② 平林 孝裕(宗教主事)
聖 田淵 結(教育学部宗教主事)
理 関西学院エコハビタット(2)
総 関西学院グリークラブ
-
- 4月30日(木) 神 榮 巖(神学研究科M2)
- 文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 関学と出会う② 永田 雄次郎(文学部教授)
法 ボランティアの奨め2 特別非営利活動法人「かめのすけ」
経 音楽チャペル 関西学院グリークラブ
商 音楽チャペル エゴラド
国 English Chapel Timothy Y. H. Tsu(国際学部教授)
聖 聖和キャンパス イースター礼拝 小見 のぞみ(聖和短期大学宗教主事)
総 小池 洋次(総合政策学部教授)
-
- 5月1日(金) 院 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)
- 神 今井 圭介(神学研究科M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 舟木 讓(宗教主事)
人 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
聖 忘れないこと—東條康江さんを覚えて 岩坂 二規(教育学部准教授)
理 KG Blessed Choir(2)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月1日(金) 教務機構のために 小菅 正伸(教務機構長)

信仰のひと、吉岡美國

井 上 琢 智

第二代院長吉岡美國先生は、若ランパス先生が関西学院の「産みの親」だとすれば、「育ての親」といえます。「無味乾燥で命の輝きのない抜け殻のような仏教」に落胆し、「西洋文明ヲ導入スル」ためには「基督教ニ寄ラネバナラヌ」と思われた先生は、老ランパス先生を「基督教ノ権化ナリ」と感じ、受洗されました。この出会いこそ、蒔かれた小さな一粒の種でした。

吉岡先生が院長に就任された 1892 年前後は、明治憲法、教育勅語発布、内村鑑三の不敬事件、井上哲次郎『教育ト宗教ノ衝突』出版など、キリスト教には厳しい時代でした。それから 25 年、原田の森校地の拡充、関西学院神学校の専門学校認可、メソヂスト三派合同、カナダ・メソヂスト教会の経営参加、社団の設立など、発展する一方、文部省訓令第 12 号、認定・指定問題に加えて、三派合同や中学部設立がもたらした諸問題に先生の苦悩は続きました。それらはキリスト教主義学校関西学院の存続を脅かすものだったからでした。そのいずれのときにも先生の頭にあったのは「特典便宜何者ぞ。全生徒を失ふとも亦止むを得ざるなり」との想いでした。この想いを支えたのが先生の信仰でした。

中村正直訓『天道溯原』などのキリスト教研究から信仰への道は、権化老ランパスとの出会いや大分りバイバルでの霊的出会でした。留学中に出会った尹致昊^{ユンチホ}に、先生は日米のメソヂストが仏教と同様「ドグマ化し、化石化し、生気がない」と批判し、「必要であれば、自分の利益を犠牲にし、ただ純粹にキリストのために宣教活動するものこそ、真に神に召される」と語っています。これこそ先生の信仰の原点でした。先生は「天」を「天地」と捉え、「父上」である「神」と区別して、「敬う」対象を「天」でなく「神」に求め「敬神愛人」を揮毫しました。さらに「有ゆる人間の中でイエスは」と語られるとき、イエスは人間であると捉えながらも「円満完全にして欠陥なき性格」をもつゆえに「神」でした。ユニテリアン中村とは異なり、先生にとって、イエスはキリスト教信仰上不可欠な存在であり、その「完全」なイエスを目指して努力し続けることこそキリスト者であり、人間として理想的な生き方でした。そのような人間に育つように見守ることこそ、先生にとって関西学院教育の原点でした。

(前関西学院大学学長)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月7日(木) 関西学院グリークラブ
- 5月11日(月) 関西学院大学混声合唱団エゴラド
- 5月14日(木) 関西学院交響楽団 弦楽アンサンブル
- 5月21日(木) 関西学院交響楽団 管楽アンサンブル
- 5月28日(木) 関西学院バロックアンサンブル
- 6月1日(月) 関西学院大学応援団総部 吹奏楽部
- 6月3日(水) 関西学院ハンドベルクワイア
- 6月10日(水) 関西学院聖歌隊
- 6月11日(木) 関西学院ゴスペルクワイア “Power Of Voice”

いずれも12時50分～13時20分

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第1回 5月7日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

主 催：夕べの祈り準備会（学生有志）

協 力：関西学院宗教活動委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

2015年4月主題：絶望から希望へ ― イエスの受難と復活を覚えて ―

4/30(木) Jeffrey Mensendiek 先生（宗教センター宗教主事）

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。